

授業科目 運動負荷学

【担当教員名】 石黒圭応・椿淳裕		対象学年	3	対象学科	理学療法学科
		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【<概要>又は<一般目標：GIO>】 運動負荷をする意義を理解し、その重要性和適応を習得する。その際に、起こりうるリスクを選択でき、それに対して対処できる知識・技能を修得することを目的とする。					
【<学習目標>又は<行動目標：SBO>】 1. 運動負荷学を説明できる 2. 評価機器を操作でき、そのデータに基づき、説明できる。 3. 運動負荷に対するリスクを説明でき、対処できる。 4. 運動負荷の実施とリスク管理、治療方針の修正を行うことができる。					
回数	授業計画又は学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員		
1	運動負荷学について（基礎）	1	石黒圭応・椿淳裕（講義）		
2	心電図の仕組み（基礎）	2	石黒圭応・椿淳裕（講義）		
3	心電図の読み方：異常心電図について	2~3	石黒圭応・椿淳裕（講義）		
4	呼気ガス分析器の仕組み	2	椿淳裕・石黒圭応（講義）		
5	呼気ガス分析器データの読み方、各種疾患の特徴	2~3	椿淳裕・石黒圭応（講義）		
6	運動負荷各種プロトコールの紹介	1~4	椿淳裕・石黒圭応（講義）		
7	まとめ及び筆記試験	1~4	石黒圭応・椿淳裕（試験）		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書		理学療法士のための運動処方マニュアル, 奈良 勲・大成浄志・川口浩太郎, 文光堂			
参考書					
その他資料					
【評価方法】 期末試験, 出席日数, 授業貢献度, などを通して総合的に判断する。			【履修上の留意点】 授業に対して受身にならず積極的に参加し、質問してほしい。		